

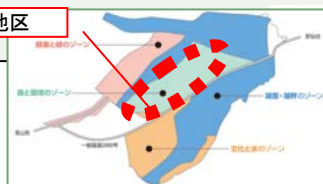
「里山地区」とは？

みちのく公園「里山地区」は、公園区域中央、釜房湖に突き出した部分にある雑木林とスギ・ヒノキなどの植林地で構成された「さとやま」です。

「人と自然のふれあい」をメインテーマとして、平成26年春の開園を目指しています。これまで、ツリーハウスづくり、樹林地管理や観察会など、さまざまな活動を行ってきました。

今年度は、開園を目指して、「里山遊び塾」・「里山育て塾」・「里山発見塾」の3つの活動を行っていきます。

里山地区



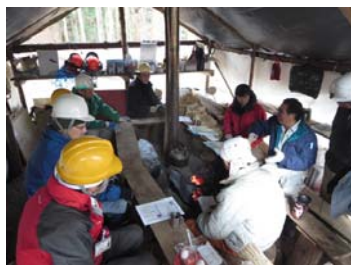
平成 25 年度は、6月29日に新年度ガイダンスを行い、7月から活動をスタートしました。「里山遊び塾」を月2回、「里山育て塾」・「里山発見塾」をそれぞれ月1回のペースで、毎週活動を行っています。

里山育て塾 2月1日（土）晴れ

●活動計画についての話し合い

もうすぐ開園、これまでの試行活動とは、状況も体制も異なります。次年度の活動はどうしようか、開園の準備はどうしようか、みんなで話し合いました！

やりたいことややるべきことについて、それぞれから意見が出て、有意義な話し合いになりました。



○開園までに優先して行う作業

- ・サインづくり（メインサイン1基、建物・横断道の記名サイン各1基、「小野分校」の記名サイン、記名サイン11基）
- ・展示台づくり（「小野分校」での樹木展示）
- ・ツリーハウス階段改修（取り外し可能にします。）
- ・遊具の安全対策（ボランティアの立会がない場合に使用できないようにします。）
- ・森の楽校への園路づくり
- ・木工コースターづくり（開園記念用）



上は、完成予定模型！
丸太を切って組立ます。

●刈払い

ツリーハウス北側斜面の林床はカタクリの群生地です。カタクリの生息環境をよくするため、下草刈をしています。

こんなにきれいなカタクリが咲きます！

●サイン用の丸太皮むき

午後は、さっそくサインづくりに着手しました。すでに切ってあった太い丸太を集めて、所要の長さに切り、ひたすら皮むきです。

●展示台づくり

里山地区の樹木を紹介するための展示台も活動でつくります。

●防腐

木材の防腐のために、表面を焼いています。



里山遊び塾 2月8日(土) 雪がちらついてきました。これがこの後、大変な大雪になったのです。

●サイン用の丸太皮むき

記名サインは直径20cm程度、長さ2mのスギが11本、メインサインはそれより太く直径30cm程度、長さは1m、本数は40本以上必要です。

同じような太さの材を探し、あとはともかくひたすら皮むきです。



●園路づくり

「小野分校」からアプローチする園路を作っています。夏から開始したのですが、なかなか進んでいません。鬱蒼としていた所の下草を刈り、木の根をはいで、丸太を縁石にして、チップをしいていきます。まだまだかかりそうですね。

里山遊び塾 2月15日(土) 雪!雪!雪! テーマは「雪遊び」です。



●第9回会員活動

金曜日の夜から大変な雪です。これほどの雪はみちのく公園も初めてかもしれません。こんな雪の日に、参加する会員やボランティアはいるのか?

ところがさすがは里山ボランティア。人数はいつもより少ないものの、いるんですよ～

雪、雪、雪の中での会員活動。銀世界の中で、雪を思いっきり楽しみました。

●雪遊び

「雪で遊ぼう!」ということで、まず、カマクラづくり。その次は、カマクラの上に、雪を固めて、大きな頭を作って、カマクラ雪だるま!

他にはソリ遊び!ソリがないので、ダンボールをレジ袋でくるんだものと、手箕(てみ)を使って、斜面をダイナミックに滑りました!



里山遊び塾 2月22日(土) 晴れ

●雪下ろし

先週の大変な雪がそのまま溶けずに残っています。旧町道ではいろいろな工事が重なり、トラックやらバックホーやら。

何とか森の楽校にたどり着きましたが、ベンチもテーブルも雪に埋もれています。まずは雪下ろし。つぶれては困ります。小屋の雪を下ろしました。



●雪かき

サイン用に皮むきをしている材を掘り出したいのだけど、う～ん、どの辺だったろう?当たりをつけて、あった!重い雪の中から掘り出すのです。

掘り出したあとは、ツリーハウスのデッキ下に運んだり、ブルーシートで仮屋根をつくって保護したり。次の作業がしやすいよう、きれいに重ねました。

薪も雪の下から掘り出し、焚きつけように薪割りをして、休憩小屋の中にしまいました。